

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2024年8月27日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 第三港湾建設
所在地	〒640-8015 和歌山県和歌山市北新桶屋町 20 番地
代表者役職・氏名	代表取締役 森鎌 保
担当者連絡先	電話：073-425-2337
	メール：daisann@creamy.nax.ne.jp
ウェブサイトURL	https://nanyokaihatsu.com

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は、和歌山県和歌山市に本社を構え、港湾土木工事に特化して事業を展開しております。港湾工事に必須となる潜水士はもちろん、県内最大級の大型起重機船(250t吊級)をはじめ、県内唯一のバックホウ浚渫船など合計7船団を自社所有し、和歌山県を中心に大阪湾、瀬戸内海の大型プロジェクトにも多数参画しております。長年積み重ねた経験と実績を基盤に、抜群の技術力・機動力を発揮し高品質で安全な施工を社会へ提供いたします。港湾工事のプロフェッショナルとして、昨今注目されている、海洋環境への配慮に使命感を持って取り組み、未来ある社会へ貢献いたします。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 ✓社会 □経済	・地域の海岸、海水浴場を地域貢献として清掃実施 ・安全環境活動の推進	・最低4回/年 実施する。 【現状】4回 【目標】4回以上 ・労働災害の防止【現状】0件 【目標】継続
□環境 ✓社会 ✓経済	・健康経営の推進 ・ワークライフバランスへの取り組み	・健康経営優良法人認定取得 【現状】未取得 【目標】取得 ・健康診断再検査受診率の向上 【現状】100% 【目標】継続 ・工事現場の週休二日を徹底 【現状】80% 【目標】100% ・時間外労働の削減 540時間以下を目指す。 【現状】100%達成【目標】継続
□環境 ✓社会 ✓経済	・女性活躍推進への取り組み ・次世代育成支援への取り組み	・えるぼし認定取得【現状】未取得 【目標】取得 ・女性管理職比率の向上【現状】10% 【目標】継続 ・くるみん認定取得 【現状】未取得 【目標】取得 ・有給休暇取得率の向上 【現状】60% 【目標】80%

(次項へ続く)

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	相談体制を整え、個人面談を定期的実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントの相談窓口の設置。 ・【予定】ハラスメント防止研修の実施。 (e-learningを含む)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	勤怠アプリを導入し、部署ごとの時間外労働時間を管理している。超過の恐れのある従業員には、その都度、指導及び注意喚起を行っている。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・「安全をすべてに優先させる」を基本方針として掲げ、ISO45001認証を取得し、安全な労働環境の整備を行っている。 ・各現場にて経営幹部による安全パトロールを随時実施している。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	全従業員に毎年1回ストレスチェックを行い、産業医・顧問医とも連携、結果確認も含めてメンタルヘルスが良好に維持できるように取り組んでいる。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・えるぼし認定取得に向けて、女性が活躍できる雇用環境を整備するための行動計画を策定中。 ・くるみん認定取得に向けて、子育て世代(男女ともに)が働きやすい行動計画を策定中。有給休暇取得率を現状の60%→80%にする目標設定を行う。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	職務や役職に応じて外部研修を活用しており、内部での研修も行っている。			4	5.5				8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5				8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・健康経営優良法人取得に向けて各種取組を実施中。野菜摂取の重要性に関するセミナーを外部の専門家を招待し、実施。また、野菜飲料を従業員に配布して、健康リテラシーを向上させる取り組みも行う。 ・健康診断の再検査受診率 現状100%の目標設定を維持していき、再検査の受診費用は、会社が負担することとしている。			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・ISO14001取得済。 ・建設現場廃棄物の適正処理、オフィスにおける省資源化等を環境マネジメントシステムに基づき実施している。											11.6 12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	【予定】本社の照明設備をすべてLED化する。							7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	【予定】本社の営業車をすべてガソリン車からハイブリット車に買い替える。							7.2 7.3				12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	環境マネジメントシステム(ISO14001の認証)に基づき運用している。			3.9			6.3				11.6	12.4						
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	環境マネジメントシステム(ISO14001の認証)に基づき運用している。						6.6									15		

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	環境マネジメントシステム(ISO14001)を取得済。			3.9		6	7				12	13.3	14	15				
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	ホームページの「環境への取組」にて情報開示している。										12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2					13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15				
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	品質マネジメントシステム(ISO9001を取得)を運用している。			3.9							12.4							
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	品質マネジメントシステム(ISO9001を取得)を運用している。								9									
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6					12	13	14	15				
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	毎年、地域の一斉清掃活動への参加、及びダンプ貸し出しを要請された時には、積極的に対応実施している。				4					9	11	12		14	15		17	
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	地元の花火大会や祭礼行事に寄付をしたり、開催場所の除草作業や、祭の運営にも参加し、地域貢献に取り組んでいる。				4						11			14	15		17	
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地産地消、地産外販)している	県産品資材の積極利用及び下請業者としては県内業者に優先的に外注している。								8	9	11	12	13					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内でも共有している	全社目標として、経営理念及び経営目標を従業員に周知、共有している。								8	9							17	
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	定期的に独占禁止法遵守のための研修・不当要求責任者講習を受講し、社内にはポスターを掲示している。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	組織表を作成し、役割、責任、権限を明確化して体制を整えている(ISO)。																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	工事を行うにあたり、近隣の住民や漁業関係者に事前に詳しい説明を行い、もし苦情が寄せられた場合には、その原因を詳しく調査し、理解していただけるように施工方法を工夫している。																16 17	
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	各工事現場で安全と衛生を確保するためのリスクマネジメントを行っており、危険予知訓練を含む様々な事故防止策を実施している。																16	
33	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	建設業に携わる企業として、地域環境の保護のためISO14001を取得し、又地域の安全安心な生活を守るため自然災害時における応急活動に取り組んでいる。																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・大規模災害時における応急対策業務等に関する協定を締結しており、災害時には応急活動に従事できる体制を整備している。									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	【予定】 ・若手技術者育成のために学生への奨学金制度を実施する。  ・技術者・職人育成のための教育を計画し、実施する。								8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】  
 ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。  
 ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)  
 ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。  
 ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。  
 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。  
 ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。  
 ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。